

# 『～外国人に伝わる、日本人にもわかりやすい～ 「やさしい日本語」って何?』

「やさしい日本語」有志の会 **杉本篤子氏**

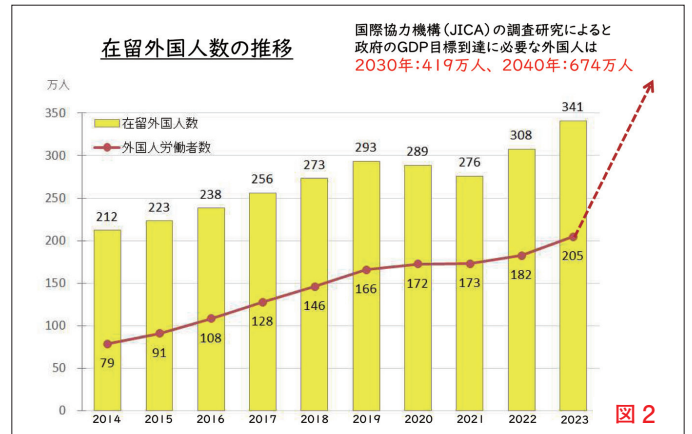


初めまして。「やさしい日本語」有志の会の杉本です。

「やさしい日本語」有志の会は、三つの柱を主に活動をしています。

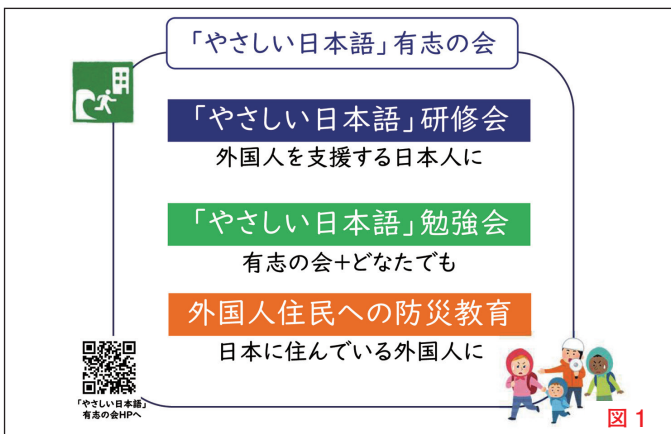
一つ目は、「やさしい日本語」を、外国人を支援する日本人に日本語のどういう言葉が難しいのか、どう伝えると分かりやすいのかを伝えしています。二つ目に、どんどん新しくなる、また活用の方法が変わったりもする「やさしい日本語」の勉強会をしています。三つ目は、外国人の住民へ防災教育をしています。その中で、「やさしい日本語」で外国人に災害時の正確な情報をどう伝えるかという取り組みもしています。(図1)

近年在留外国人が増えてきていることは皆さんご存知だと思います。政府発表の棒グラフ(図2)でもわかるように、どんどん増えています。またこの赤い折れ線グラフは、厚生労働省が出している「雇用状況」です。右上赤字で書いてありますが今後2030年には419万人、2040年には674万人の外国人がいないと日本が回らないといわれています。



日本で働いている外国人は、日本語を勉強してから日本に来ます。少なくとも挨拶は出来るし、必要なことを伝えられる日本語を勉強してから入ってきます。これからは子どもや奥さんが家族滞在という制度で来日されることも増えるでしょうが、まだまだ受け入れ態勢が整っていないのが現状です。

「やさしい日本語」は弘前大学の佐藤和之教授の研究グループで提唱されたのが始まりです。1995年1月17日の阪神淡路大震災は朝の6時前に発生しましたが、外国人には詳細な情報がほとんど伝わらなかった。NHKで「大きな地震が神戸の方で起こ



災害時の情報

外国人住民は  
二重の被災者

何が起こったの?  
どうなっているの?  
どうすればいいの?  
どこへ行けば安全?

恐怖  
焦り

不安  
心配

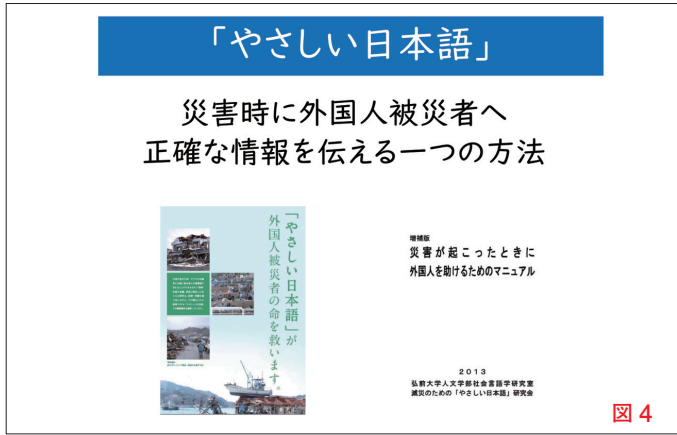


図 4

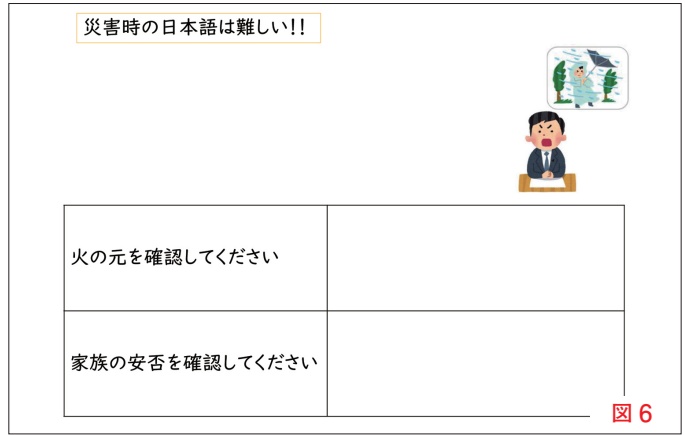


図 6

りました」という簡単な情報が初めて英語で放送されたのが、夕方の5時ぐらいだったそうです。

地震の時は、必要な情報が得られないと、何が起こってどうなったのか、どうすればいいのか、またどこへ行けば安全かもわかりません。自分一人でも怖いのに、家族がいたら一緒にどこに行ったらいいのか、どう行動したらいいのかがわかるためには、どうしても「情報」が必要になってきます。情報がないとパニックになったり、デマの拡散にも繋がるのです。

そこで「災害時に外国人被災者へ正確な情報を伝える一つの方法」として弘前大学人文社会科学部研究室の佐藤和之教授が中心となって「やさしい日本語」が考案されたのです。(図 4)

例えば、「避難する」は「逃げる」、「危険です」は「危ないです」、「う回」は「違う道を行ってください」、「崖」は「山の急なところ」と表現したのが「やさしい日本語」です。(図 5)

「火の元を確認してください」「家族の安否を確認してください」。これは災害時によく使われる言葉ですが、これを日本語でわかりやすく書きかえてみてください。(図 6)「火の元を確認してください」は「火を消してください」、「家族の安否を確認して

ください」は「家族がどこに居るのか聞いてください」「家族が大丈夫か聞いてください」が外国人にはわかりやすいです。

「在留外国人の国籍」の公用語を調べたランキングでは、英語が公用語になっている国は少ないというのがわかります。京都市(図 7)もよく似ていますね。

また、埼玉県や福島県などで行われた外国人へのアンケート結果です。日本人が思ってる以上に日本語ができる方はたくさんおられます。

さて、ここからは「やさしい日本語」のルールについてお話します。

外国人にとって、わかりにくい日本語ベスト3は「敬語」、「カタカナ語・外来語」、「擬態語・擬音語」(図 8)です。この三つを抜くだけでも、外国人との会話は随分通じやすくなります。

敬語は、基本的には「です・ます形」が一番わかりやすい。(図 9) 外国人は「です・ます」の形から日本語を勉強します。「ですか、ますか」と「か」を加えれば疑問文ができますし、「でした、ました」にすれば過去形になります。ですから「です・ます」で話すが一番わかりやすいです。

普通の日本語	「やさしい日本語」
避難する	逃げる
危険	危ない
う回	違う道を行ってください
崖	崖<山の急なところ>

図 5

京都市在留外国人の国籍・地域、公用語、人数

人口順位	国籍・地域	人口		公用語
1	韓国	16,629	27.1%	韓国語
2	中国	16,514	26.9%	中国語
3	ネパール	4,463	7.3%	ネパール語
4	ベトナム	4,382	7.1%	ベトナム語
5	ミャンマー	1,967	3.2%	ミャンマー語
6	インドネシア	1,915	3.1%	インドネシア語
7	台湾	1,898	3.1%	中国語
8	フィリピン	1,709	2.8%	フィリピン語・英語
9	アメリカ	1,531	2.5%	英語
10	スリランカ	1,160	1.9%	シンハラ語・タミル語

図 7



よくある勘違い!

## わかりにくい日本語 ベスト3

### ① 敬語

初めて会う人だから、丁寧に…

### ② カタカナ語・外来語

英語を交えてわかりやすく…

### ③ 擬態語、擬音語

擬音語は世界共通…



図 8

### ③ 擬音語・擬態語は避ける

✗ 擬態語：めちゃめちゃ、ドキドキ

△ 擬音語：ドンドン、ガシャン、コツコツ



図 11

### ① 敬語は難しい!!

基本は「です・ます形」

ご在宅の日時をご記入いただけますか

✗ 方言、話し言葉

図 9

### ② カタカナ語・外来語に気をつける

図 10

…発音が違う、意味が異なる、省略形も多い

- ✗ ライフライン
- ✗ デマ
- ✗ ゲリラ豪雨
- ✗ バンドエイド
- ✗ エアコン、リモコン、パソコン

京都シティのスーパーバッグを買ってください。ごみをリサイクルタイプとファイヤータイプに分けます。リサイクルタイプはブルーバッグです。ファイヤータイプはイエローバッグです。そのごみがコンパクトされる曜日にしてください。



例えば、「ご在宅の日時をご記入いただけますか」は「家にいる日と時間を書いてください」とするとわかりやすくなります。「方言や話し言葉」も難しいです。京都弁は特に難しいですね。他人行儀に思うかもしれない話し方ですが、「です・ます」が一番通じやすいです。

次に「カタカナ語・外来語」に気を付けてください。(図 10) 例えば、「ライフライン」はどういう意味でしょうか。ライフラインは英語では「命綱」と言う意味ですが、日本語ではガス、電気、水道という意

味ですね。他にも「デマ」はドイツ語、ゲリラ豪雨の「ゲリラ」はスペイン語です。「エアコンディショナー」を「エアコン」、「リモートコントローラー」を「リモコン」と省略した言葉も多い。「カタカナ語・外来語」は発音が違う、意味が異なる、省略形も多いので通じにくいです。

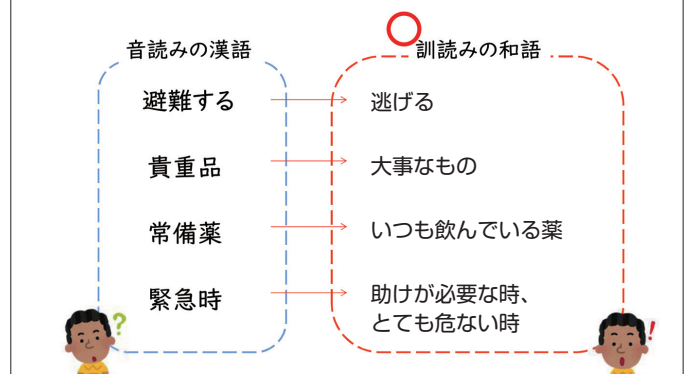
次に擬音語・擬態語です。擬音語・擬態語が、世界共通と思ってる人も、すごく多いです。(図 11)「ドンドン、ガシャン、コツコツ」は擬音語で、具体的に音がするので、外国人にも比較的わかりやすいのですが、「めちゃめちゃ」「ドキドキ」などの擬態語は、一語ずつ意味を覚えないとわからない。できるだけ、擬音語・擬態語を使わないようにしてください。

続いて、「やさしい日本語」基本ルールについてお話しします。

言葉はやさしい方がいいです。(図 12)「避難する」は「逃げる」、「貴重品」は「大事なもの、大切なもの」、「常備薬」は「いつも飲んでる薬」、「緊急時」は「助けが必要なとき」や「とても危ないとき」となります。これらをよく見ると、左側は「音読みの漢字」の言葉で、右側は「訓読みの和語」です。外国人は和語

### 言葉はやさしいほうがいい

図 12



具体的な物事や行動がわかりやすい

- 雨具 →
- 暖かくする →
- 一週間後 →



Q.公共交通機関でお越しく下さい。

→

Q.只今、京都線は運転を見合わせております。

→

✓「やさしい日本語」には正解がありません

図 13

あいまいな表現はしない

✓はっきり言う



- …ます
- …ません
- …かもしれません



- 津波の恐れがあります
- 津波の可能性が**あります**
- 津波の**危険性が高まっています**
- 津波の**来るところがありそうです**
- 津波が**予想されています**

図 15

から勉強します。例えば、「避難」という言葉が難しいのは、まず「避ける」「難しい」という言葉を覚え、読めるようになって、書けるようになって、漢字の「音読み」と「訓読み」を覚え、それを組み合わせて「避難」という言葉を覚え、理解しないとイケないのです。ですから、漢字、熟語などの音読みの単語で話すより、訓読みの「和語」で話してあげると外国人にわかりやすくなります。

次に「具体的な物事や行動がわかりやすい」です。(図 13)「雨具」は「傘、レインコート」、「暖かくする」は「服をたくさん着る」、「1 週間後お越しく下さい」は「何月何日」と言うほうがわかりやすいです。

「公共交通機関でお越しく下さい」は「電車やバスで来て下さい」、「只今、京都線は運転を見合わせております」は「今、京都線の電車は動きません」「止まっています」のほうがわかりやすいです。

ただ、やさしい日本語には「これが正解」、「これがだめ」ということはありません。また、「文」は短い方がいいです。(図 14)「地震の揺れで壁に亀裂が入っています。建物に気をつけてください」。「地震で壊れた建物に気をつけてください」これぐらい

がわかりやすいです。さらに「壊れた」と「気を付ける」の二つの動詞が入ってる文章は二つの意味をもっていますので、二つの文に分けることができます。「建物が壊れています。気をつけてください」このように言うとうわかりやすいです。

日本語は曖昧ですね。(図 15) 大雨の恐れがあります、大雨の可能性が**あります**、大雨の危険性が高まっていますなど、いろいろな表現があるのは日本語の素晴らしいところなのですが、どれだけ降るのかわかりにくい。「やさしい日本語」の表現では、「雨が降ります」(肯定)、「雨が降りません」(否定)、「雨が降るかもしれません」(あいまい表現) の3つです。はっきり言うことが大切です。

また、文章は最後まで言うことが大切です。「現在 30 分以上の遅れがございます」「現在 30 分以上の遅れはございません」。この「ます」「ません」の最後のところが一番大事です。ここまでの、「はっきり言う」「最後まで言う」「短く言う」この三つを合わせて「は・さ・み」の法則と教えている先生もいらっしやいます。(図 16) これだけでも、外国人に伝わりやすい日本語になります。

文は短い方がいい

✓ 長い連体修飾語は避ける

地震の揺れで壁に亀裂が入ったりしている 建物に気をつけてください。



地震で壊れた 建物に 気をつけて ください。



✓ 1文に意味は一つ

建物が壊れています 気をつけて ください

図 14

最後まで言う

✓日本語は文の最後が大切

現在30分以上の遅れがございます。  
現在30分以上の遅れはござい**ません**。

頭はいいが、性格が悪い ≠ 性格は悪いが、頭がいい

A:「明日、一緒に映画に行きませんか？」  
B:「ごめんなさい、明日はちょっと…。」




- ✓はっきり言う
- ✓さいごまで言う
- ✓みじかく言う

図 16



**二重否定の表現は避ける** ✓肯定文で

この道は通れないことはない




この水は 使えないわけではない

時間内にお越しただけない場合は、受付をお断りすることがあります。  
18歳以下の方のご入場はご遠慮ください。  
ガソリン以外入れないてください。

図 17


**外国人住民も一緒に防災教育を**

<自助>  
自分・家族



防災の基礎知識  
日常からの備え

<共助>  
地域  
コミュニティ



日常の  
コミュニケーション

<公助>  
行政機関  
警察・消防  
自衛隊




図 19

また、二重否定の表現は避けてください。(図 17)  
「この道は通れないことはない」どんな道ですか？  
否定の表現はできたら避けてください。例えば「ポイ捨て禁止」は「ゴミはゴミ箱に捨ててください」と肯定文で、行動を具体的に言っていただくのが伝わりやすいです。

学校で使う日本語も外国人にとって難しい言葉がたくさんあります。

「ひく」「結ぶ」「上」「取る」「回す」など、ひとつの言葉にたくさん意味があります。簡単な言葉ほど難しいのは、外国語でも同じです。

本日、皆さんの手元に(公財)京都府国際センター作成の『防災ガイドブック「やさしい日本語版」』を置いています。(図 18)

外国人の方には母国語版と日本語版の2冊をお渡しすると、日本語の勉強にもなるし、防災の勉強にもなります。町内会等でも外国人の住民に配布するなど、活用していただければと思います。



図 18

10言語の防災ガイドブックは、PDFで「(公財)京都府国際センター <https://www.kpic.or.jp/>」からもダウンロードできます。

(やさしいにほんご、中国語・簡体語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、インドネシア語、英語、フィリピン語、ペイン語、ベトナム語、タイ語)

本日は、防災に関心のある方がいっぱい来られていると思います。ご近所に住んでいる外国人にぜひ、防災を教えてあげてください。外国人も、私たちが普通に知っていることを普通にできるようになって欲しいと思います。いわゆる「自助」の部分です。(図 19) 地域で防災教育に取り組むと、外国人とのコミュニケーションにも繋がります。有志の会では今日お話しした「やさしい日本語」で防災教育をしていますので、資料とかテキストもお渡しできます。相談していただけたらと思います。また、外国人だけを集めて防災教育を行うより、地域の日本人も一緒にやる方がいいです。防災グッズを並べて説明したり、グループワークでハザードマップを説明したり、地域の危険なところの再確認を一緒にしたりする。そういうコミュニケーションが、地域の防災にも繋がると思います。

外国人の視点から地域の防災、避難所の運営を考えると、障害者、お年寄り、子ども、妊婦さんからの視点も見えてくるかと思います。ぜひ地域の外国の方と一緒に防災を考えていただければと思います。

以上をもちまして「やさしい日本語」そして「防災」のお話は終わりです。ありがとうございました。